

廃棄物・リサイクル対策部 適正処理・不法投棄対策室

1. 事業の概要

(1) アジア資源循環推進ネットワーク形成事業

資源等の適正かつより効率的な使用を推進する等のために、平成17年春に我が国で開催される「3Rイニシアティブ」()閣僚会合を受けて、アジア各国の関係者からなるフォローアップ会合を開催し、資源循環の推進方策、バーゼル条約の適正な運用等について検討する。同時に、アジア各国における3R推進に関する国家計画の策定を支援する。

また、バーゼル条約の適正な運用等のため、アジア各国の担当者間の連絡窓口を設置するほか、国内の不法輸出入の水際防止対策を強化する。

(2) 3Rに関する技術移転の推進

アジア各国の3R技術の能力向上を目的とした研修用資料を作成し、3R技術を普及させるほか、3R技術の情報をデータベース化する。

(3) アジア資源循環研究ネットワーク形成事業

アジアにおける静脈物流の実態把握や、循環資源の将来推計を行うためのモデル構築に関する研究を行う。実施に際しては、アジア各国の研究者が連携して研究を行う体制を構築する。

2. 事業計画

- | | |
|------------------------------------------------------|-------|
| (1) アジア資源循環推進ネットワーク形成事業
(「不法輸出入防止・国際循環戦略検討事業」を改名) | 15年度～ |
| (2) 3Rに関する技術移転の推進 | 17年度～ |
| (3) アジア資源循環研究ネットワーク形成事業 | 17年度～ |

3. 施策の効果

政策担当者レベル、研究者レベルでのアジア各国間の連携の強化
廃棄物等の不法輸出の未然防止、循環資源の越境移動に係る適正管理、
3R技術、に関するアジア各国の能力向上

アジアにおける、循環資源の効率的利用と廃棄物等の適正処理の実現

- () 本年6月、米国シーアイランドで開催されたG8サミットにおいて、小泉総理の提唱により合意されたイニシアティブ。グローバルな視点から3R（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））を通じて循環型社会の構築を目指すもの。

アジア資源循環推進構想

